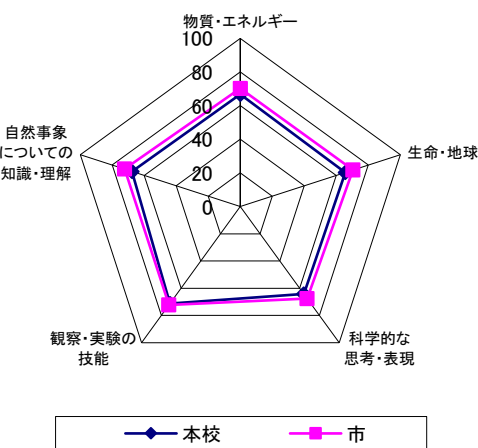


宇都宮市立横川中央小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	66.8	70.3	69.0
	生命・地球	65.6	70.4	70.2
観点別	科学的な思考・表現	64.2	67.5	66.4
	観察・実験の技能	71.3	72.3	68.9
	自然事象についての知識・理解	67.7	72.3	71.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	●平均正答率は66.8%で、市の平均を3.5ポイント下回った。 ●「二酸化炭素と反応して白くにごる液体を、石灰水と理解しているかどうか」という設問では、正答率62.5%で、市の平均を13.0ポイント下回った。 ○「ふりこの周期はふりこの長さに依存することを理解し、同じ周期になるふりこを指摘する」という設問では、正答率76.3%で、市の平均を6.1ポイント上回った。	実験や観察において、変える条件と変えない条件に着目して実験を計画したり、結果を的確に処理して考察したりする活動を大切に、科学的な思考力や表現力の定着を図っていく。学習で身に付けた科学的な言葉や概念を使用して、自然の事物・現象について考察したり説明したりする機会を設け、科学的な見方や考え方を養っていく。教科書のまとめの部分やプリントなどで既習内容を確認し、さらに定着を図っていく。
生命・地球	●平均正答率は65.6%で、市の平均を4.8ポイント下回った。 ●「あらゆる食べ物のもとをたどると、植物に行き着くことを理解しているか」を問う設問に対する正答率は67.5%で、市の正答率を14.5ポイント下回った。 ○「太陽に見られる特徴は何か」という設問では、正答率91.3%と高い正答率だった。	実験のデータの取り方や処理の仕方について十分に指導するとともに、実験結果や観察記録などのデータと現象とを関係付けて考察する活動を、今後も十分に行っていく。動物や植物、生き物のくらしと環境などについては、日常生活と関連させたり、図鑑などの写真や絵を見たりしながら、興味・関心を高めていく。普段から、「なぜ」「どうして」という疑問をもつ機会を増やし、授業に生かしていくようにする。